

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年2月14日
【四半期会計期間】	第38期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日）
【会社名】	株式会社ワオ・コーポレーション
【英訳名】	WAO CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 社長執行役員 西澤 昭男
【本店の所在の場所】	大阪市北区中崎西2丁目6番17号
【電話番号】	06 - 6377 - 7971（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 副社長執行役員 大西 雄三
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区中崎西2丁目6番17号
【電話番号】	06 - 6377 - 7971（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 副社長執行役員 大西 雄三
【縦覧に供する場所】	東京本社 （東京都杉並区阿佐谷南2丁目14番4号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜1丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第3四半期連結 累計期間	第38期 第3四半期連結 累計期間	第37期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	12,521,418	12,364,918	16,710,472
経常利益(千円)	360,628	470,323	332,696
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失( ) (千円)	297,930	257,885	396,388
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	298,534	256,512	397,315
純資産額(千円)	2,587,092	2,695,845	2,488,312
総資産額(千円)	9,782,151	9,687,231	10,030,983
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失 金額( )(円)	36.50	31.59	48.56
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	26.4	27.8	24.8

回次	第37期 第3四半期連結 会計期間	第38期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年10月1日 至平成22年12月31日	自平成23年10月1日 至平成23年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	16.74	10.06

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、第37期第3四半期連結累計期間及び第37期については、四半期(当期)純損失が計上されているため記載しておりません。
4. 第37期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理をしております。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

その他の事業 当社吸収合併による連結子会社3社の減少

- ・(株)アートスタッフ
- ・(株)ワオネット
- ・(株)ワオワールド

この結果、平成23年12月31日現在では、当社グループは、当社、連結子会社2社及び持分法適用関連会社2社により構成されております。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、新たに締結した経営上の重要な契約等はありません。

なお、当社は、平成23年12月20日開催の取締役会において、当社の代表取締役会長兼社長である西澤昭男によるMBOの一環として行われる株式会社NAホールディングス（西澤昭男が発行済株式の全てを所有）による当社株式の公開買付けに賛同することを決議いたしました。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興が進むなか、個人消費は回復基調にあるものの、一方で電力供給や雇用・所得環境について厳しい状況が続いており、今後の景気回復は先行き不透明な状況となっております。

当教育業界では、少子化や将来の市場を見据えた業務提携や資本提携など業界再編が進んでおります。また、各社がそれぞれ自社の強みを活かした商品開発を行うことで他社との差別化を図っており、厳しい市場獲得競争がここ数年継続しております。

このような環境のもと、当社グループでは主たる学習塾部門におきまして、地域を絞り込み、集合型教室「能開センター」及びフランチャイズ展開を含む「個別指導Axis（アクシス）」の新規開校、既存校の改装並びに人的体制の強化など、収益基盤の強化を進めてまいりました。従来に引き続き「能開センター」では授業品質の徹底管理及び商品ラインナップの見直しに、「個別指導Axis」では学習プラン提案力の向上などお客様一人ひとりのニーズへの対応の強化に、「ワオ！の家庭教師」では各県の「能開センター」「個別指導Axis」などの教室との相乗効果を図ることに注力してまいりました。なお、期首からの出校数は、直営校5校、フランチャイズ校5校の合計10校となりました。

また、当社の持つ良質な教育コンテンツをより多くのお客様に効率的に提供するため、授業映像を活用した現行の「大学受験映像講座『マイ速』」に続く、小中学生向け映像学習コンテンツの開発を進めており、この春より順次リリースしております。同時に、次代の教育を見据えたeラーニング事業の一環として、インターネットを介した「ワオ！のオンライン家庭教師」、「スタッド学習教室」のスマールステップ教材とデジタルペンによる在宅学習システム「ワオスタディー」などの商品開発や集客にも積極的に取り組んでまいりました。他方、旧子会社が手掛けていた、広報物の企画制作、教育専門のITソリューション事業、eラーニングの開発販売、デジタルコンテンツの企画制作につきましては、学習塾部門との連携をより密にし業容拡大を図ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高123億64百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益4億47百万円（前年同期比24.3%増）、経常利益4億70百万円（前年同期比30.4%増）、四半期純利益2億57百万円（前年同期は四半期純損失2億97百万円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### 教育事業

当社グループにおける教育事業は、幼児から高校生及び社会人を対象としており、当社が運営する「能開センター」、「個別指導Axis（アクシス）」、「ワオ！の家庭教師」、「WAO高等学院」、フランチャイズ方式の「スタッド学習教室」及び在シンガポール現地法人が運営する「WAOシンガポール・オーチャード校」から構成されております。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は117億円（前年同期比0.7%減）、セグメント利益は12億48百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

#### その他の事業

当社では、その他の事業として、印刷物等の企画制作、文教ソリューション事業及びエンターテインメント事業を主に行っております。これらは、当社による連結子会社3社の吸収合併により当該連結子会社から継承した事業であります。また、昭和アニメーション有限責任事業組合では、アニメーション映画の製作及び興行を行っております。

当事業の当第3四半期連結累計期間における売上高は、6億63百万円（前年同期比10.6%減）、セグメント損失は46百万円（前年同期はセグメント損失94百万円）となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

#### (3) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	8,600,000	8,600,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	8,600,000	8,600,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	8,600,000	-	1,146,375	-	996,375

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 436,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,159,700	81,597	-
単元未満株式	普通株式 3,500	-	-
発行済株式総数	8,600,000	-	-
総株主の議決権	-	81,597	-

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称等	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) (株)ワオ・コーポレーション	大阪市北区中崎西 2丁目6番17号	436,800	-	436,800	5.08
計	-	436,800	-	436,800	5.08

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,471,966	1,600,587
受取手形及び売掛金	485,997	699,102
商品及び製品	231,169	54,973
仕掛品	25,704	80,794
原材料及び貯蔵品	27,064	26,707
その他	445,171	335,922
貸倒引当金	29,601	34,131
流動資産合計	2,657,472	2,763,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,615,153	1,556,345
土地	3,325,739	3,325,739
器具備品(純額)	264,070	233,235
その他(純額)	36,771	8,582
有形固定資産合計	5,241,735	5,123,902
無形固定資産	264,639	224,883
投資その他の資産		
差入保証金	1,414,732	1,293,176
その他	465,224	284,067
貸倒引当金	12,819	2,755
投資その他の資産合計	1,867,136	1,574,488
固定資産合計	7,373,511	6,923,274
資産合計	10,030,983	9,687,231
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	56,600	80,265
短期借入金	1,641,669	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	888,998	886,664
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
未払法人税等	179,071	60,665
賞与引当金	207,140	33,126
校閉鎖損失引当金	9,488	4,635
資産除去債務	34,716	17,864
その他	1,261,491	1,359,861
流動負債合計	4,339,175	4,353,083
固定負債		
社債	150,000	90,000
長期借入金	1,900,002	1,431,004
退職給付引当金	383,466	412,391
資産除去債務	439,839	448,493
その他	330,187	256,413
固定負債合計	3,203,496	2,638,302
負債合計	7,542,671	6,991,385

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,146,375	1,146,375
資本剰余金	1,009,110	1,009,110
利益剰余金	425,892	634,798
自己株式	92,025	92,025
株主資本合計	2,489,352	2,698,258
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	537	101
為替換算調整勘定	1,577	2,513
その他の包括利益累計額合計	1,039	2,412
純資産合計	2,488,312	2,695,845
負債純資産合計	10,030,983	9,687,231

( 2 ) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】

【 四半期連結損益計算書 】

【 第 3 四半期連結累計期間 】

( 単位 : 千円 )

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
売上高	12,521,418	12,364,918
営業費用	9,121,529	9,054,917
営業総利益	3,399,888	3,310,001
販売費及び一般管理費	3,039,632	2,862,320
営業利益	360,255	447,680
営業外収益		
受取利息	742	595
受取配当金	175	197
持分法による投資利益	13,957	55,249
受取手数料	6,142	5,637
保険配当金	16,666	2,415
その他	11,099	8,415
営業外収益合計	48,784	72,510
営業外費用		
支払利息	48,060	48,982
その他	351	885
営業外費用合計	48,412	49,867
経常利益	360,628	470,323
特別利益		
移転補償金	13,517	-
校譲渡益	-	7,402
その他	550	3,875
特別利益合計	14,068	11,278
特別損失		
固定資産売却損	16,197	-
固定資産除却損	3,067	2,063
減損損失	19,542	-
校閉鎖損失	22,177	14,748
投資有価証券売却損	-	872
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	330,249	-
出資金評価損	17,690	-
その他	3,880	-
特別損失合計	412,805	17,684
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失 ( )	38,109	463,916
法人税、住民税及び事業税	86,305	59,453
法人税等調整額	173,516	146,577
法人税等合計	259,821	206,031
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 ( )	297,930	257,885
四半期純利益又は四半期純損失 ( )	297,930	257,885

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	297,930	257,885
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	417	435
為替換算調整勘定	186	936
その他の包括利益合計	604	1,372
四半期包括利益	298,534	256,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	298,534	256,512
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 前連結会計年度に連結子会社であった株式会社アートスタッフ、株式会社ワオネット及び株式会社ワオワールドは、平成23年4月1日付にて当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、第1 四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

【追加情報】

当第3 四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。
(株式会社NAホールディングスによる当社株式の公開買付けに係る賛同決議) 当社は、平成23年12月20日開催の取締役会において、当社の代表取締役会長兼社長である西澤昭男によるMBOの一環として行われる株式会社NAホールディングス(西澤昭男が発行済株式の全てを所有)による当社株式の公開買付けに賛同することを決議いたしました。 なお、公開買付けの概要は以下のとおりであります。 (1) 公開買付者 : 株式会社NAホールディングス (2) 対象者 : 株式会社ワオ・コーポレーション (3) 買付け等に係る株券等の種類 : 普通株式 (4) 買付予定株式数 : 8,163,200株 (5) 買付下限株式数 : 6,384,454株 (6) 買付け等の期間 : 平成23年12月21日から平成24年2月21日まで (7) 買付け等の価格 : 1株につき245円

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
	1 偶発債務 債務保証 一部の賃借物件の保証金について当社、貸主及び金融機関との間で代預託契約を結んでおります。当該契約に基づき、金融機関は貸主に対して保証金相当額を預託しており、当社は貸主が金融機関に対して負う当該預託金の返還債務40,809千円を保証しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費 316,143千円	減価償却費 320,176千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	24,489	3.0	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月24日 定時株主総会	普通株式	24,489	3.0	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	24,489	3.0	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	教育事業 (千円)	その他の事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客に対する売上高	11,778,983	742,435	12,521,418	-	12,521,418
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,327	183,399	191,726	191,726	-
計	11,787,310	925,835	12,713,145	191,726	12,521,418
セグメント利益又はセグメント 損失( )	1,339,730	94,880	1,244,850	884,594	360,255

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額 884,594千円には、セグメント間消去22,377千円及び各報告セグメントに配分されない全社費用 906,971千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	教育事業 (千円)	その他の事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客に対する売上高	11,700,980	663,937	12,364,918	-	12,364,918
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	11,700,980	663,937	12,364,918	-	12,364,918
セグメント利益又はセグメント 損失( )	1,248,133	46,499	1,201,634	753,953	447,680

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失( )の調整額 753,953千円には、セグメント間消去3,779千円及び各報告セグメントに配分されない全社費用 757,732千円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( )	36円50銭	31円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額( ) (千円)	297,930	257,885
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額( )(千円)	297,930	257,885
普通株式の期中平均株式数(株)	8,163,247	8,163,172

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、前第3四半期連結累計期間については四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....24,489千円

(ロ) 1株当たりの金額.....3円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年12月9日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行いました。



## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月14日

株式会社ワオ・コーポレーション  
取締役会 御中

### 三優監査法人

代表社員 公認会計士 杉田 純 印  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 古藤 智弘 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワオ・コーポレーションの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワオ・コーポレーション及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。